



作成日 2008年10月1日

作成者

確認日

確認者

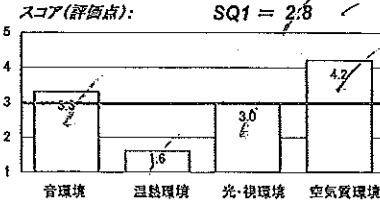
(1) 建物概要

建物名称	(仮称)六地蔵奈良町計画	敷地面積	9,738 m <sup>2</sup>	
建物用途	集合住宅	建築面積	5,478 m <sup>2</sup>	
建設地	京都府宇治市	延床面積	50,076 m <sup>2</sup>	
気候区分	地域区分IV	階数	地上19F	
地域・地区	商業地域、防火地域	構造	RC造一部S造	
竣工年	2010年12月 予定	平均居住人員	人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

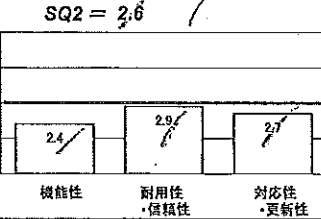
(2-1) 環境性能評価結果 (バースケート)

Q: 建築物の環境品質・性能 (居住環境のQ-カテゴリーを向上させる性能評価) SQ = 2.7

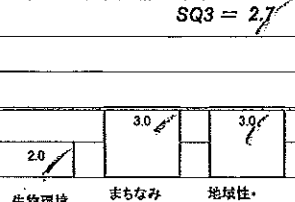
Q-1 室内環境



Q-2 サービス性能

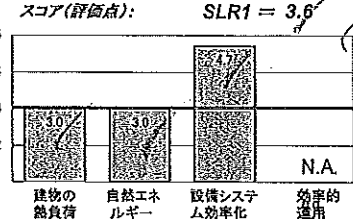


Q-3 室外環境(敷地内)

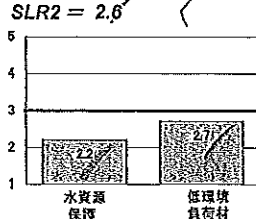


LR: 建築物の環境負荷低減性能 (環境負荷を低減させる性能評価) SLR = 2.9

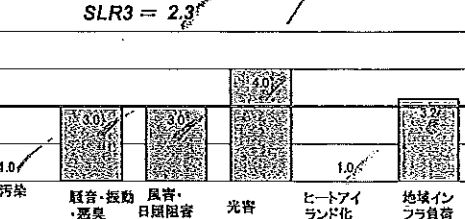
LR-1 エネルギー



LR-2 資源・マテリアル

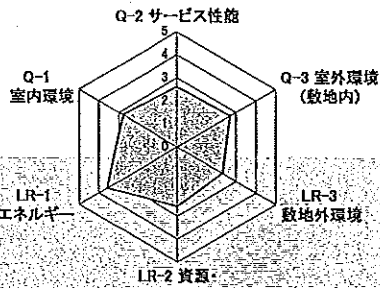


LR-3 敷地外環境



(2-2) 環境性能評価結果 (0-100バースケート)

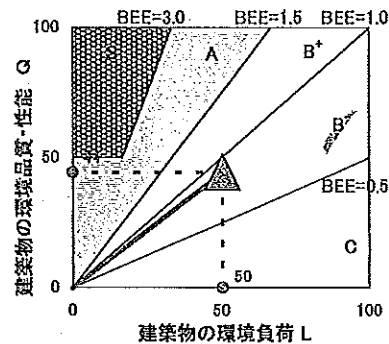
(2-3) 環境性能効率 BEE



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{44.2}{50.3} = 0.8$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

項目	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		年間延床面積あたり削減量		削減率 (%)
	0	10	20	30	40	50	
運用エネルギー消費量	MJ/年m <sup>2</sup>		MJ/人時		MJ/年m <sup>2</sup>		
運用CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /人時		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
水消費量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>		m <sup>3</sup> /人時		m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>		
LCCO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /人時		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>		t/人時		t/年m <sup>2</sup>		
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>		t/人時		t/年m <sup>2</sup>		

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	環境管理計画
有資格者による設計	

凡例  
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category  
注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点, N/Aは評価対象外とした項目を示す。敷地測定に関わる評価は対象外。  
注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。  
Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。  
注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。

BEE: Building Environmental Efficiency

